

国立文楽劇場料金表

劇場使用料

【文楽劇場】

種別	使用区分		平日	土・日・祝
伝統芸能等の公開 (第1種)	全日	午前10時半～午後9時半	534,900円	641,900円
	半日	午前10時半～午後4時	267,500円	321,000円
	午前	午前10時半～正午	160,500円	192,600円
	午後	午後1時～午後4時	214,000円	256,800円
	夜間	午後5時～午後9時半	374,400円	449,300円
	午後夜間	午後1時～午後9時半	481,400円	577,700円
その他の芸能の上演 (第4種)	全日	午前10時半～午後9時半	802,400円	962,900円
	半日	午前10時半～午後4時	401,200円	481,400円
	午前	午前10時半～正午	240,700円	288,800円
	午後	午後1時～午後4時	321,000円	385,200円
	夜間	午後5時～午後9時半	561,700円	674,000円
	午後夜間	午後1時～午後9時半	722,200円	866,600円

【小ホール】

種別	使用区分		平日	土・日・祝
全種均一	全日	午前10時半～午後9時半	127,400円	152,900円
	半日	午前10時半～午後4時	63,700円	76,400円
	午前	午前10時半～正午	38,200円	45,800円
	午後	午後1時～午後4時	51,000円	61,200円
	夜間	午後5時～午後9時半	89,200円	107,000円
	午後夜間	午後1時～午後9時半	114,700円	137,600円

・非公開による芸能の上演(第2種)、芸能に関する式典・講演等が主であるもの(第3種)、その他の使用(第5種)の料金はお問い合わせ下さい。

・楽屋は使用区分の1時間前から入れます。

・第1種または第4種の使用で、「全日」の使用期間が連続して5日以上にわたる場合は割引があります。

・本番に向けた準備(仕込)や稽古(リハーサル)のための使用には割引があります。

常設舞台装置使用料

	常設舞台装置(定式道具)	使用料
あ	浅妻船	29,000円
	雨の五郎	28,000円
	菖蒲浴衣	17,000円
	粟餅(街屋定式)	21,000円
い	板羽目ナラベ	33,500円
	妹背山	55,000円
う	浦島	22,000円

	常設舞台装置(定式道具)	使用料
え	越後獅子	29,000円
	大平(前欄間付)	58,000円
お	大平	45,000円
	大平(小ホール専用)	30,200円
	近江のお兼	32,000円
	お染久松	12,000円
	落人	49,000円

	常設舞台装置(定式道具)	使用料
	お夏狂乱	56,000円
	大原女	42,000円
	お光狂乱	26,000円
	女車引	57,000円
	女伊達(仲之町定式)	43,000円
か	傀儡師(街屋定式)	21,000円
	鏡獅子	70,000円
	角兵衛(街屋定式)	21,000円
	かさね(※打ち藪別料金)	63,000円
	神田祭	33,000円
き	勢獅子	34,000円
	菊	14,000円
	喜撰	13,000円
	京鹿子娘道成寺	72,000円
	京人形	39,000円
く	鞍馬獅子	39,000円
け	元禄花見踊	17,000円
こ	独楽	34,000円
	子守(街屋定式)	21,000円
さ	鷺娘	42,000円
	五月雨	8,000円
	晒三番(板羽目・破風)	37,000円
	晒女	32,000円
	三社祭	29,000円
	汐汲	24,000円
し	賤の苧環(一景・二景)	29,000円
	島の千歳(赤柱)	17,000円
	石橋	18,000円
	執着獅子(鏡獅子大平)	45,000円
	正札附草摺引	60,000円
す	助六	40,000円
た	団十郎娘	31,000円
ち	蝶の道行	14,000円
つ	津山の月	36,000円
て	丁稚(蔵街屋)	21,000円
	手習子	21,000円
と	峠の万歳	41,000円

	常設舞台装置(定式道具)	使用料
と	年増	35,000円
	鳥羽絵	46,000円
	供奴(仲之町定式)	43,000円
な	仲之町	43,000円
に	二人椀久	29,000円
の	乗合船	47,000円
は	羽根の禿	36,000円
ふ	藤娘	51,000円
	双面	47,000円
	文売り	16,000円
ほ	本朝廿四孝	64,000円
ま	舞妓	34,000円
	まかしよ	18,000円
	将門	67,000円
	街屋	21,000円
	街屋(川街屋)	21,000円
	街屋(蔵街屋)	21,000円
	街屋(正面橋街屋)	28,000円
	街屋(桜、川街屋)	21,000円
	松羽目(囲い付)	69,000円
	松羽目	58,000円
み	三ツ面子守	34,000円
	都鳥	33,000円
も	戻橋	56,000円
や	櫓のお七(幻お七)櫓の場	58,000円
	屋敷娘	16,000円
	八島官女	24,000円
	保名	14,000円
ゆ	夕立	24,000円
	夕月	29,000円
よ	吉野山	36,000円
	吉原雀(仲之町定式)	42,000円
り	流星	23,000円
ろ	浪曲5点セット (机・湯飲置き・椅子・盆栽台2台)	11,300円

・常設舞台装置の一部を使用する場合の料金はお問い合わせください。

舞台備品使用料

舞台備品	使用料	舞台備品	使用料
囲い一式(砂子・紺・黒・緑)(全日)	25,600 円	屏風(金・銀・鳥の子)一雙	5,800 円
囲い(小ホール専用・砂子)(全日)	8,800 円	色紙(鳥の子・砂子・ぼかし)	3,400 円
スモークマシン(ロスコ)	6,100 円	ドライアイスマシン(ドライアイスは実費)	6,100 円

- ・その他、立木、造花、吊枝、吊花、幕類等、各種ございます。
- ・使用1回毎に料金がかかります。・連続使用の場合には割引がございます。

その他の施設使用料・受託料

項目		単位	使用料
稽古室使用料 (10:00~21:00)	大稽古室(小ホール)	1 時間	7,400 円
	中稽古室(和室・12 畳)	1 時間	1,500 円
	小稽古室1・2(和室・6 畳)	1 室・1 時間	800 円
花道措置料(文楽劇場)			34,700 円
入場券作成手数料	クリーム色	1 枚	10 円
入場券委託販売手数料	国立文楽劇場チケット売り場での前売	売上 1 枚につき	額面の 10%
受託録音料	運営モニターによる録音	30 分	1,900 円
ワイヤレスマイク		1 本	1,300 円
録音媒体	CD	1 枚	200 円
照明エフェクトマシン	1 台	1.5kw 以上	2,600 円
		1.0kw 以上	1,900 円
		1.0kw 未満	1,300 円
電源・場所等使用料 (主催者以外による営業等の行為)	電源を使用しない場合	1 件	2,500 円
	電源を使用する場合		3,800 円

担当職員稽古立会料

時間	立会料(1 人)
1 時間半以内	8,000 円
5 時間半以内	11,000 円
5 時間半超	12,000 円
劇場外の稽古等に立会う場合は交通費が発生いたします。	

関係業者費用

		料金
人件費 (1 人)	午前	18,700 円
	半日、午後、夜間	25,300 円
	全日、午後夜間	27,500 円
表看板作成		18,000 円
めくり作成(1 枚)		2,200 円

- ・劇場使用日以外の稽古等に劇場職員の立ち会いをご希望の場合は、早めにお申し出ください。日程により立ち会えない場合もございます。
- ・劇場職員が通常の担当業務を超える技術協力を行う場合は、別に定める技術料・立会料が発生いたします。(内容等により協力が行えない場合もございます。)

劇場使用例のご紹介

【文楽劇場 使用例①】

日本舞踊おさらい会 日曜日 11:00 開演 20:00 終演

文楽劇場使用料	¥676,600	土日祝「全日」・花道使用
舞台設備使用料等	¥408,000	囲い一式 定式道具 等
関係業者人件費	¥457,200	舞台・音響・照明・操作盤
計	¥1,541,800	

【文楽劇場 使用例②】

邦楽演奏会 日曜日 12:00 開演 15:30 終演

文楽劇場使用料	¥321,000	土日祝「半日」
舞台設備使用料等	¥81,600	囲い一式 等
関係業者人件費	¥351,000	舞台・音響・照明・操作盤
計	¥753,600	

【小ホール 使用例①】

日本舞踊おさらい会 日曜日 11:00 開演 15:30 終演

小ホール使用料	¥76,400	土日祝「半日」
舞台設備使用料等	¥71,400	囲い 屏風 等
関係業者人件費	¥117,000	舞台・音響・照明
計	¥264,800	

【小ホール 使用例②】

落語会 平日 18:00 開演 20:00 終演

小ホール使用料	¥89,200	平日「夜間」
舞台設備使用料等	¥40,800	囲い 屏風 等
関係業者人件費	¥46,800	舞台・音響
計	¥176,800	

※上記は使用例です。料金は実際の内容により変動いたします。

・この料金表は令和6年2月1日現在の料金です。

今後、予告なく料金の変更、使用方法の変更などが実施される場合がありますので、ご了承ください。

劇場ご使用までの流れ

①「予約申込書」のご提出

まずは「予約申込書」をご提出ください。使用内容を確認させていただきます。文楽劇場のご使用が初めての場合は、上演前歴等がわかる資料も併せてご提出ください。

②「使用日内定通知書」「施設使用申込書」の発行

使用内容の確認が出来ましたら発行いたします。

③「施設使用申込書」のご提出

必要事項を記入してご提出ください。

④予約保証金のご請求

予約保証金は劇場使用料の50%です。

⑤予約保証金のご入金

ご入金後に使用取消となった場合でも、予約保証金はキャンセル料として頂戴し、返金いたしません。使用日の変更も当初申込のキャンセルとして取り扱いますので、ご注意ください。

⑥「施設使用承諾書」の発行

予約保証金の入金を確認後、「施設使用承諾書」を発行いたします。

⑦公演打合せ

公演の一か月程度前に、劇場側スタッフと公演の打合せを行います。

⑧「概算見積書」の発行

打合せの結果をもとに、公演に関する経費の概算見積書を発行いたします。

⑨使用当日

公演終了までに、劇場使用料の残額、道具使用料、関係業者人件費等を現金にてお支払いください。

お申し込み・お問い合わせ

独立行政法人 日本芸術文化振興会

国立文楽劇場 営業課 劇場利用係 (平日 午前10時～午後6時)

〒542-0073 大阪府中央区日本橋 1-12-10 国立文楽劇場 1階

TEL 06-6212-5794 FAX 06-6212-1091

<https://www.ntj.jac.go.jp/bunraku.html>